
神殺しの旅

かぐにゃん

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

神殺しの旅

【Zコード】

Z7640L

【作者名】

かぐにゃん

【あらすじ】

ある日少女、アリスは親とケンカをして家出をする。

そして偶然迷い込んでしまった嘆きの森で悪鬼神に襲われる。

絶体絶命の状態で助けてくれたのは、神殺しの異名を持つ少年ベガ。

偶然の出会いから始まる一人の旅。

今神殺しの旅が始まる。

(前書き)

文才ないですががんばります。

神 それは世界を作りし者、故に宗教の象徴とされたりする。

多くの者は神は存在しないと思っているが、本当は存在している。

しかし神とはいえ全てが正義とは限らない。

時として世界を作った偉大な神々は世界を滅ぼすこともある。

そのよみに世界を滅ぼそうとしている神々のことを悪鬼神といつ。

そして一人の少年と少女の悪鬼神を倒す旅が今始まる。

深夜 嘆きの森中央付近

「まつはは・・・・・」一人の少女が走っていた。

「ぐわおおお！」「獸が咆えるような声、少女を追つて迫る。

「はつははーもひ・・・最悪・・・」息を切らしながら走る少女。

「ぐわおおお！」「獸が咆え、少女の体ほどの太さのある腕を振つて来た。

「きやつー」「少女は咄嗟に防御をしたもの、衝撃を堪えられず樹にぶつかってしまう。

「グッオオオー！！！」獸は少女に飛び掛り、食いちぎりをする。

「あつ・・」少女は動くことが出来ない、脚はさつきの衝撃で麻痺してしまい、腕も折れてしまつてゐ

（私は死ぬのかな？）少女は今までの短い生涯を走馬灯のように出し。

（さよならパパ、ママ）ゆっくりと目を開じた。

その時！

「グオオオー！」すごい衝撃とともに獸が吹き飛ばされる。それにて、炎がどこからとも無く生まれ獸に襲い掛かる。

「い、いつたい、何が、どうなつて！」少女はいきなりの事態についていけなくなつていた。

そこへ

「無事か！」一人の少年が現れた、年は自分と同じくらいだろうか？どうやら助けてくれたらしい。

「え？ あ、はい」少女は反射的に答え、少年は安堵したように息を吐く。

「少し元気にしてくれ、すぐにカタをつけるから」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7640/>

神殺しの旅

2010年10月9日16時54分発行